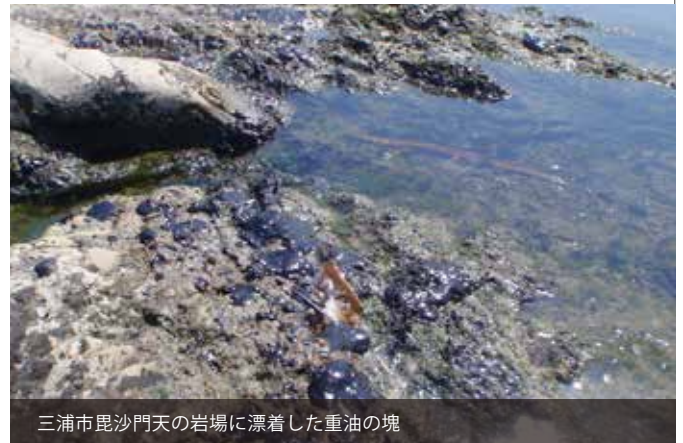




3/13の低気圧の影響で大量のごみが漂着した小田原市酒匂川河口部



三浦市毘沙門天の岩場に漂着した重油の塊

海岸は今 | 静かな冬から騒がしい春へ

4月の爆弾低気圧と9月-10月の連続台風の際には、海岸には大量のごみが漂着しましたが、それらを頑張って回収した結果、今年度の冬は、例年以上に落ち着いた季節となりました。

春と秋に河川敷などに溜まったごみが大雨によって、総ざらいにされたことにより、冬場に少々雨が降ったくらいでは、ごみは全くといってよいほど

漂着せず、忙しかった春と秋の恩恵を冬に受けることができました。

しかし、季節が春に変わり始めた3月13日、発達した低気圧の影響で関東地方は猛烈な春の嵐に見舞われ、藤沢市片瀬東浜・片瀬西浜や小田原市酒匂川河口部には人工ごみ混じりの木くずが大量に漂着しました。

また、3月18日には三浦市沖で貨物

船同士が衝突し、沈没した外国船籍の貨物船から流出したとみられる重油が、三浦市から鎌倉市にかけての海岸に漂着しているのが、26日までに確認されました。財団では海岸のパトロールを強化し、重油を発見次第、県の対策本部に連絡する体制をとっています。

横須賀市久里浜海岸の漂着タイヤが増加中

横須賀市久里浜海岸。ペリー公園の前にあるこじんまりと落ち着いた雰囲気のある海岸。海水浴場ではありませんが、多くの人を訪れる憩いの場となっていますが・・・最近、ここに大量のタイヤが流れ着いているんです。

流れ着くのは悪天候後で大体20本から40本以上流れ着きます。昨年度までは、これほどたくさんのタイヤが流れ着くことはなく、今年度になってから流れ着く頻度が異常に多くなりました。

この大量のタイヤは、久里浜海

岸の隣にある平作川から流れ出た可能性が高いと考えられます。平作川には係留している船舶が多数ありますが、その船舶のクッション材に使用していたものが流れ出てしまったのかもしれない。

実際、漂着したタイヤの多くには、ロープを通すための穴が開けられています。もちろん、これだけが原因とは言いきれませんが、海近くでタイヤを使用している方はきちんとした管理をお願いします。うっかり落としたタイヤは最終的に海へ流れ着いてしまいます。



鎌倉市ご当地ナンバープレートお目見えです

鎌倉市の原付用のオリジナルナンバープレートが、今年の1月6日から交付されています。

江ノ電鎌倉高校前の坂から見下ろした、海と江ノ電と踏切のシンプルなデザインは、本当にかわいいです。

ちなみに、バックの色は、50cc以下が白、90cc以下が黄、125cc以下がピンクです。

この風景を探して写真を撮りに来る人も増えそうですね。